

**上毛新聞**

4月17日  
月曜日 大安

発行所(〒371-8666) 前橋市古町1-50-21  
**上毛新聞社**  
(総合)027-254-9911  
(編集)027-254-9933  
(広告)027-254-9944  
(販売)027-254-3131  
(事業)027-254-9955  
©上毛新聞社 2017年

公園で開かれる環境イベントに参加。これを皮切りに実行委が都内の関連イベントに出展するほか、アウトドア用品店や出版社と連携したキャンペーンを行う。節目の年を盛り上げ、環境運動の象徴である尾瀬の適切な利用や保全を訴える。

**県内外で  
魅力PR**

尾瀬国立公園が誕生して8月で10年となるのに合わせ、尾瀬の魅力やPRしたり、課題を考える事業が県内外で展開される。群馬、福島、新潟の関係3県や地元自治体、観光協会などで構成する記念事業実行委員会は22、23の両日、東京・代々木

# 誘客へ企画花盛り

## みどりフェスタ 山小屋の宿泊券 スタンプラリー

### 尾瀬国立公園



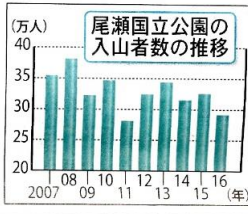
尾瀬国立公園は2007年8月30日、日光国立公園から分離・独立して誕生した。代々木公園のイベントは、今年で17回目となる「アースデイ東京」で、生物多様性や持続可能な社会づくりに関係する団体が参加し、毎年10万人以上が来場する。実行委は出展を二連の記念事業の「キックオフ」と位置付け、尾瀬の魅力や節目をアピール。誘客に結び付ける狙いもある。地元の尾瀬高は、生徒が

アースデイに参加し、二ホンジカによる食害調査など独自の取り組みを知り、視野を広げてもいい」と期待する。

4月22、23日	アースデイ東京でPR(東京・代々木公園)
29日	新宿御苑みどりフェスタでPR(東京・新宿御苑)
5~6月	宿泊券プレゼント企画(各地のアウトドア用品店)
5~10月	スマートフォンアプリ利用のスタンプラリー(尾瀬周辺)
5月19日	尾瀬山開き
19、20日	山の集いイン東京でPR(東京・平和島)
6月3日	ごみ持ち帰り運動(鳩待峠ほか)
8月30日(調整中)	10周年記念式典(片品村)

徒たちには多くの人に活動内容を伝えるとともに、他団体の取り組みを知り、視野を広げてもいい」と期待する。

実行委は29日の「新宿御苑みどりフェスタ」や、5月19、20日の「山の集いイン東京」といった都内のイベントでもPR。5月27日~6月30日は、1万円以上の買い物で山小屋宿泊券が当たるキャンペーンをア



ウトドア用品を販売する東北から中部地方の約100店で実施したり、5月中旬~10月中旬には、「山と深谷社」(東京)が開発したスマートフォンアプリ「YAMASTA(ヤマスタ)」を使うスタンプラリーを尾瀬周辺で予定している。実行委は、3県で行われ

る写真コンテストやごみ持ち帰り運動、山開きなど計20の関連行事を「10周年記念」と銘打ち、メモリアルイヤーを前面に打ち出す方針。記念式典は8月30日、片品村で行う方向で調整している。

環境省によると、16年(5~10月)の尾瀬国立公園の入山者は前年比10.5%減の29万1860人。入山者の分散化などが課題となっており、実行委事務局の尾瀬保護財団は「取り組みを通じて祝賀ムードを醸成し、尾瀬の環境についても考えてもらえるようにしたい」としている。